

時短エクセル(第53回)

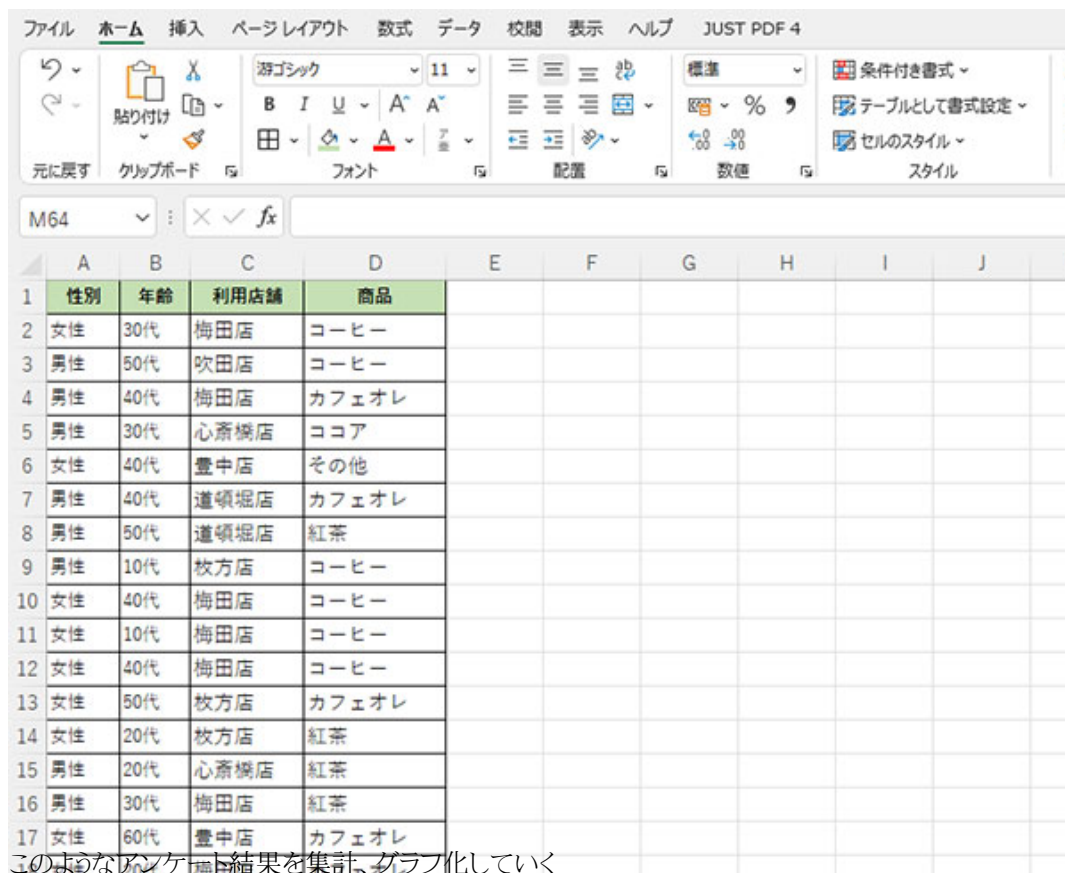
アンケートを集計してグラフ化する(1)

2022.04.04

Webでアンケートを採ることはよくあることだ。これを、集計してグラフ化することによって初めてそのアンケートの意味が出てくる。Excelにはいろいろな集計方法があるが、今回は単一選択のものを集計する方法のうち、一番簡単な方法を紹介する。n数が数百件程度、設問の選択肢が4~5つ程度ならこれらの簡単な方法で十分対応できる。

集計する前の下準備をしておこう

あるコーヒーショップのアンケートを例に説明する。ここで収集したのは性別、年代、一番よく利用する店舗、一番よく注文する商品の4つで、いずれも一択とする。件数は50件。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	性別	年齢	利用店舗	商品						
2	女性	30代	梅田店	コーヒー						
3	男性	50代	吹田店	コーヒー						
4	男性	40代	梅田店	カフェオレ						
5	男性	30代	心斎橋店	ココア						
6	女性	40代	豊中店	その他						
7	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ						
8	男性	50代	道頓堀店	紅茶						
9	男性	10代	枚方店	コーヒー						
10	女性	40代	梅田店	コーヒー						
11	女性	10代	梅田店	コーヒー						
12	女性	40代	梅田店	コーヒー						
13	女性	50代	枚方店	カフェオレ						
14	女性	20代	枚方店	紅茶						
15	男性	20代	心斎橋店	紅茶						
16	男性	30代	梅田店	紅茶						
17	女性	60代	豊中店	カフェオレ						

このようなアンケート結果を集計、グラフ化していく

まず一番にやりたいことは、「連番を振る」作業。これは、並べ替えなどをした際にも、いつでもすぐに元の状態に戻せるようにしておくためだ。このような表の場合は、まずは最初の段階で連番を振っておくことをお勧めする。

ファイル	ホーム	挿入	ページレイアウト	数式	データ	校閲	表示	ヘルプ	JUST PDF 4
元に戻す	貼り付け	クリップボード	フォント	配置	数値	スタイル	条件付き書式	テーブルとして書式設定	セルのスタイル
A2									
1	連番	性別	年齢	利用店舗	商品				
2	1	女性	30代	梅田店	コーヒー				
3	2	男性	50代	吹田店	コーヒー				
4	3	男性	40代	梅田店	カフェオレ				
5	4	男性	30代	心斎橋店	ココア				
6	5	女性	40代	豊中店	その他				
7	6	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ				
8	7	男性	50代	道頓堀店	紅茶				
9	8	男性	10代	枚方店	コーヒー				
10	9	女性	40代	梅田店	コーヒー				
11	10	女性	10代	梅田店	コーヒー				
12	11	女性	40代	梅田店	コーヒー				
13	12	女性	50代	枚方店	カフェオレ				
14	13	女性	20代	枚方店	紅茶				
15	14	男性	20代	心斎橋店	紅茶				
16	15	男性	30代	梅田店	紅茶				
17	16	女性	60代	豊中店	カフェオレ				

先頭に列を挿入し、A2セルに1と入力した後、[Ctrl]キーを押しながら最後までドラッグすると連番を振ることができる

関数を使わずに並べ替えだけでカウントする方法

ここまで準備ができれば、今度はフィルター機能を使う。表の中の任意のセルにカーソルがある状態で「ホーム」タブの「編集」グループの「並べ替えとフィルター」から「フィルター」をクリックする。

ファイル	ホーム	挿入	ページレイアウト	数式	データ	校閲	表示	ヘルプ	JUST PDF 4
元に戻す	貼り付け	クリップボード	フォント	配置	数値	スタイル	条件付き書式	テーブルとして書式設定	セルのスタイル
B7									
1	連番	性別	年齢	利用店舗	商品				
2	1	女性	30代	梅田店	コーヒー				
3	2	男性	50代	吹田店	コーヒー				
4	3	男性	40代	梅田店	カフェオレ				
5	4	男性	30代	心斎橋店	ココア				
6	5	女性	40代	豊中店	その他				
7	6	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ				
8	7	男性	50代	道頓堀店	紅茶				
9	8	男性	10代	枚方店	コーヒー				
10	9	女性	40代	梅田店	コーヒー				

「ホーム」タブの「編集」グループの中にある「並べ替えとフィルター」から「フィルター」を選択

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 ヘルプ

元に戻す クリップボード フォント 配置

B7 男性

	A	B	C	D	E	F	G
1	連	性別	年齢	利用店舗	商品		
2	1	女性	30代	梅田店	コーヒー		
3	2	男性	50代	吹田店	コーヒー		
4	3	男性	40代	梅田店	カフェオレ		
5	4	男性	30代	心斎橋店	ココア		
6	5	女性	40代	豊中店	その他		
7	6	男性	40代	道頓堀店	カフェオレ		
8	7	男性	50代	道頓堀店	紅茶		

項目行に▼マークが付いた、これがフィルターだ

この機能を使えば、降順や昇順に並べ替えたり、ある項目だけに絞り込んだりできる。ここではまず「性別」の項目にあるフィルターを使って降順に並べ替えてみよう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	連	性別	年齢	利用店舗	商品					
	昇順(S)				コーヒー					
	降順(Q)				コーヒー					
	色で並べ替え(I)				カフェオレ					
	シートビュー(V)				ココア					
	"性別" からフィルターをクリア(S)				その他					
	色フィルター(I)				カフェオレ					
	テキストフィルター(E)				紅茶					
	検索				コーヒー					
	☑ (すべて選択)				コーヒー					
	☑ 女性				コーヒー					
	☑ 男性				コーヒー					
					カフェオレ					
					紅茶					
					紅茶					
					カフェオレ					
					カフェオレ					

▼マークをクリックし、「降順」をクリックする

フィルターの並べ替え機能を使って男性を上部に、女性を下部に並べ替えた。小さい順に並べ替えるのが昇順、大きい順

に並べ替えるのが昇順だが、日本語の場合は、直接入力したかコピーしてきたかなどによって異なるため、ここではあまり深掘りしない。今回の場合は同じ文字列が固まっていればよいので、順番は問わない。

B2セルから男性の部分だけをドラッグする。すると、ステータスバーに件数が表示されるので、それを表に転記すればいい。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
9	15	男性	30代	梅田店	紅茶									
10	19	男性	20代	豊中店	コーヒー									
11	21	男性	70代	梅田店	カフェオレ									
12	22	男性	60代	心斎橋店	紅茶									
13	24	男性	10代	豊中店	カフェオレ									
14	25	男性	70代	枚方店	カフェオレ									
15	26	男性	60代	吹田店	コーヒー									
16	27	男性	30代	心斎橋店	紅茶									
17	31	男性	50代	心斎橋店	カフェオレ									
18	34	男性	30代	梅田店	ココア									
19	35	男性	70代	吹田店	カフェオレ									
20	37	男性	40代	心斎橋店	ココア									
21	39	男性	30代	豊中店	カフェオレ									
22	43	男性	30代	心斎橋店	コーヒー									
23	44	男性	50代	心斎橋店	紅茶									
24	50	男性	20代	吹田店	コーヒー									
25	1	女性	30代	梅田店	コーヒー									
26	5	女性	40代	豊中店	その他									
27	9	女性	40代	梅田店	コーヒー									

ドラッグしたデータの個数がステータスバーに表示される

データの個数: 23

女性も同じようにドラッグしてカウントし、その数字を表に記入しておこう。

	B	C	D	E	F
1		性別			
2		男性	23		
3		女性	27		
4			50		
5					
6					

念のために男性と女性の合計をサム関数で求めておこう。これがもし50になっていなかったら何か間違いがあるということに気付ける

集計結果を基に円グラフを作成する… 続きを読む